

学年	コース	教科	科目	類型	必・選	単位数
2	特進Ⅰ	地歴歴史	世界史B	文系	選択	4

講座のねらい

2年次では、選択科目として世界史を選択し、積極的に入試科目とするということで、より発展的な内容にしていきます。世界史の大きな枠組みや流れを理解し、歴史的事象を把握します。さまざまな事象が歴史を動かし進めていくという、しっかりとした知識と理解が大切です。扱う時代は古代、中世、近代前半におよび、扱う地域は、中国、イスラム、ヨーロッパなど多岐にわたります。内容も深く、真摯な学習姿勢が肝要です。

使用教材及び問題集

教科書 『世界史B』（東京書籍）
 資料集 『最新世界史図説 タペストリー』（帝国書院）
 問題集 『総合マスター 世界史B』（浜島書店）

授業の内容と進め方

基本的に1年次と同様、教科書の著述に沿って授業をすすめていきます。資料集や様々な教材を用い、1年次に比べ、より内容を深め、かつ進度をはやめた授業を展開します。いくつかの項目についてはプリントや視聴覚教材など使い、興味、関心がわくよう工夫します。定期的あるいは定期考査や校外模試（実力考査）の対策として、小テストを行うことがあります。授業中は、常に机の上に教科書と資料集を開いて集中し、授業と並行して視覚的な面からの知識定着をはかることも大切です。

講座の到達目標

- 1、歴史の知識を多く獲得することで、社会に対する関心を広げ、また高め、そして深く考えることで、生徒の将来に有為となるようしていきます。
- 2、中国、イスラム、ヨーロッパとさまざまな地域の歴史を学習することで、知識の定着とともに、その文化圏の持つ特色や、時代を経て諸地域が発展していく様子を理解し、関心を深めます。
- 3、入試に対応できるよう正確な知識の積み上げを行います。

評価の観点・テスト・課題など

評価は、定期考査の得点を主資料とし、授業態度、課題などの提出物、小テストなどで総合的に行います。ノート提出や小テストは適宜。定期考査は、教科書を中心に授業で学習した内容を出題します。入試を念頭においた発展的内容や入試問題も出題することがあります。

日々の努力が入試の場面で力を発揮しますので、定期考査では、高得点をめざしてがんばってほしい。

備考

授業の計画

1 学期 学習計画および学習内容

<第1編>

- 第4章 東アジア世界
 - 3、東方の世界帝国
- 第5章、内陸ユーラシア世界
 - 1、騎馬遊牧民国家の興亡
 - 2、草原地帯のトルコ化とイスラーム化
- 第6章、東南アジア世界の形成
 - 1、海の道の形成と東南アジア
 - 2、東南アジア諸国家の再編成
- 第7章、古アメリカ世界

<第2編>

- 第8章、イスラーム世界の成立と発展
 - 1、イスラーム世界の成立
 - 2、イスラーム世界の発展
 - 3、花開くイスラーム文明

2 学期 学習計画および学習内容

- 第9章、東アジア世界の変容
 - 1、唐帝国の崩壊と東アジア
 - 2、都市の時代の訪れ
- 第10章、ヨーロッパ世界の成立と変容
 - 1、東ヨーロッパ世界
 - 2、西ヨーロッパ中世世界の成立
 - 3、封建社会と都市
 - 4、カトリック教会と十字軍
 - 5、中世ヨーロッパ文化
 - 6、中世的世界の動揺
 - 7、ルネサンス
- 第11章 ユーラシア大陸諸国の繁栄
 - 1、モンゴル帝国
 - 2、イランと中央アジアの栄光
 - 3、東地中海の強国 — オスマン帝国
 - 4、インドの大国 — ムガル帝国
- <第3編>
- 第12章、海域世界の発展
 - 1、三つの海域世界の成立
 - 2、海域世界の拡大
 - 3、海と陸の結合 — 東南アジア世界の発展
- 第13章、中華帝国とアジア
 - 1、元朝の成立
 - 2、明帝国の成立
 - 3、清帝国の成立

3 学期 学習計画および学習内容

- 第14章、大交易時代
 - 1、海洋帝国の出現
 - 2、大交易時代の世界
- 第15章、近世のヨーロッパ
 - 1、主権国家群の形成と宗教改革
 - 2、オランダの繁栄と英仏の追い上げ
 - 3、18世紀のヨーロッパと啓蒙専制国家
 - 4、近世のヨーロッパの社会と文化
- 第16章、欧米における国民国家の形成
 - 1、激化する経済覇権競争
 - 2、経済と社会の産業化
 - 3、南・北アメリカの革命
 - 4、フランス革命とウィーン体制
 - 5、社会変革の夢 — 新しい革命の波